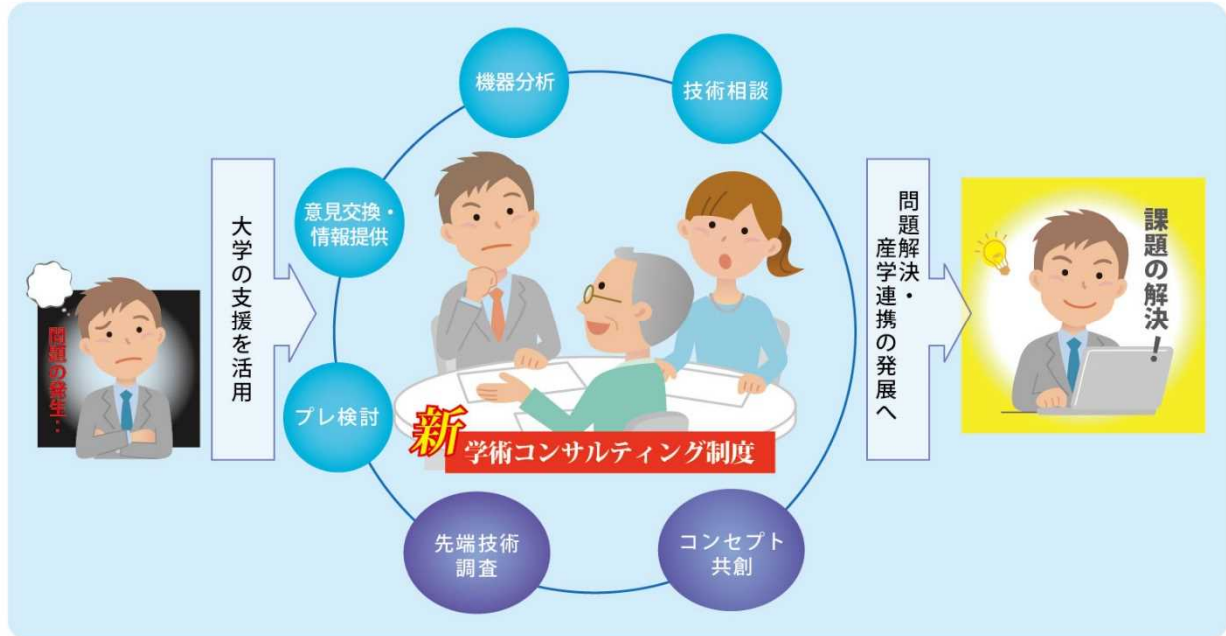


学術コンサルティング制度のご紹介

学術コンサルティング制度とは？

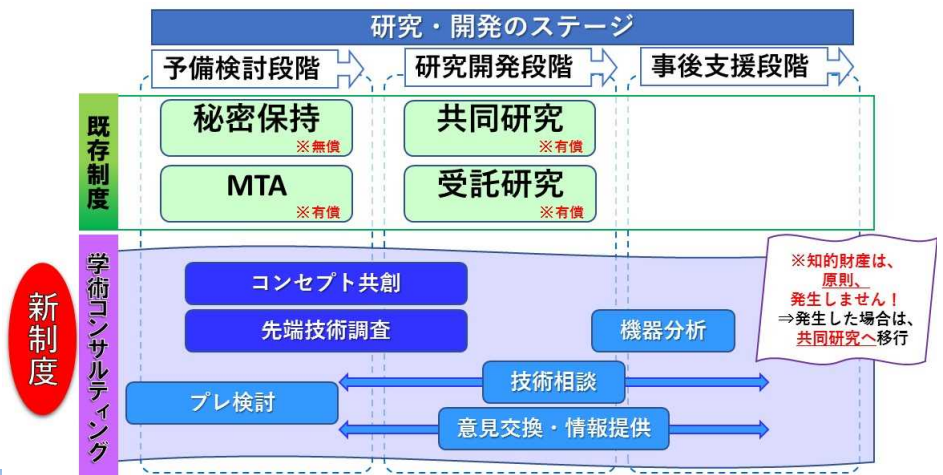
「学術コンサルティング」は、企業等の幅広い課題・要望に対し、熊本大学の教職員が助言や指導、新事業の創出支援、技術調査、課題解決を行う新たな産学連携制度です。

企業等の事業化や産学連携の検討における様々なステージで生じる課題に対応できるよう多彩なメニューを準備しました。



従来制度との比較

これまで、大学と企業との連携は大学の技術シーズ提供による共同研究・受託研究が主でした。しかし、企業からは、研究開発や特許実施許諾等の技術シーズ提供だけでなく、幅広い課題の解決に向けた指導助言、支援が求められており、この度、学術コンサルティングを新設しました。



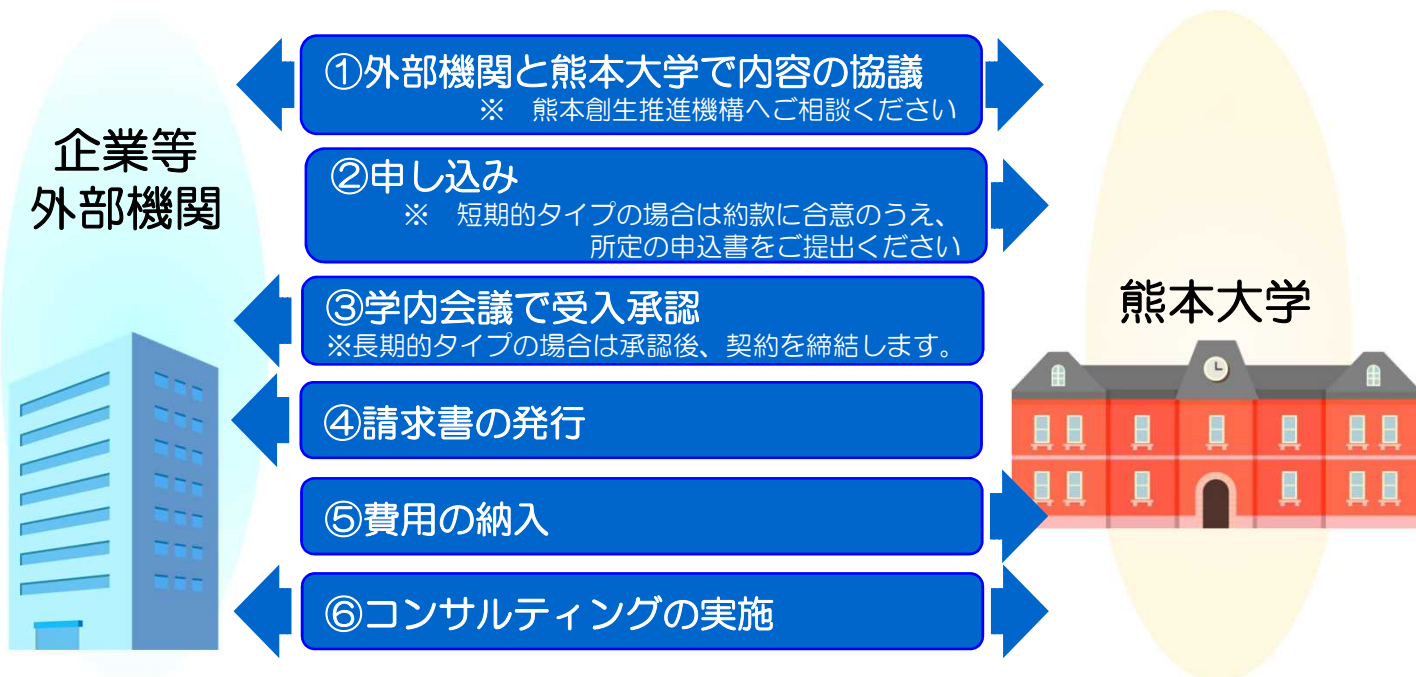
学術コンサルティングのメニュー

実施する内容と期間により中長期的タイプと短期的タイプの二種類があります。

タイプ	メニュー	内容	契約の形態	最低契約額
中長期	コンセプト共創	企業の新規事業の企画や実現に向けた計画立案を支援します。	契約 ※協議可	100万円
	先端技術調査	先端研究の調査や技術トレンドを国内外で調査し、事業計画や開発に有益な情報を提供します。		
短期	プレ検討	共同研究実施前に技術的可能性を検証します。	約款 ※修正不可	20万円
	技術相談	技術課題・経営課題に対し解決策等をアドバイスします。		
	意見交換・情報提供	専門分野の研究動向や研究成果の説明、施設見学などの情報提供、意見交換を行います。		
	機器分析	機器測定を行い、専門的な見地から測定結果の解析を行います。		

学術コンサルティングの手続きの流れ

学術コンサルティングは熊本創生推進機構が受け入れ窓口となり、依頼内容等のご相談に乗ります。必要な手続きの流れは以下のとおりです。



学術コンサルティングにかかる経費の算定

学術コンサルティングにかかる経費は、①コンサルティング費（指導料）、②必要経費、③間接経費（①と②の合算の30%）の合計の金額になります。

直接経費	①コンサルティング費	職級と受託内容により決定する時間単価と要する時間から算定 ※ 時間単価：2万～5万円/時間 担当者及び内容により調整
	②必要経費	人件費、旅費、消耗品代、機器・設備使用料 など
間接経費	③直接経費の30%	

学術コンサルティング制度と共同研究・受託研究・寄附金・兼業の違い

	学術コンサルティング	共同研究 受託研究	寄附金	兼業
実施形態	本務	本務	—	本務外
実施場所	原則学内	学内	制約なし	学外
受入主体	本学	本学	本学	個人
受入経費	研究費	研究費	寄付金	個人収入
契約	学術コンサル契約 あるいは 学術コンサル約款	共同研究契約 受託研究契約	無し (大学に研究義務 は発生しない)	個人 あるいは 無し
技術開発	伴わない	伴う	可能	学内では不可
知財の帰属	知財が発生しない	共同 あるいは 本学単独	本学単独 (寄附者に成果等 の還元不可)	個人

お問合せ先



国立大学法人熊本大学 熊本創生推進機構 イノベーション推進部門
TEL：096-342-3145 FAX：096-342-3300 E-Mail：liaison@jim.kumamoto-u.ac.jp